





宮堀の渡船場跡

平和湯から程近い場所にある「宮堀の渡船場跡」。

大正末期頃から1960年代頃まで、隅田川を渡る際にはこの宮堀の渡船場から渡し舟に乗って移動をしていた。毎月21日には西新井の大師参りで多くの人が利用するなど、橋の少ない時代にはこの地域の人々にとって欠かせない交通手段だったという。新神谷橋ができてからはその役目を終え、現在は散歩やジョギングが気持ちよく楽しめる場所となっている。渡船場があった頃に思いを馳せながら、ぜひ散策してみては。

住所：東京都北区神谷1丁目3北区立宮堀児童遊園(文化財説明板)